

2016年4月1日

トヨタ車体、2016年度入社式を実施

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 取締役社長：増井 敬二）は、本日午前10時30分からトヨタ車体健康保険組合会館ホールにおいて、新入社員208人（事務職13人、技術職62人、技能職133人）の入社式を行いました。

入社式での社長あいさつ（要旨）は以下のとおりです。

【社長あいさつ（要旨）】

当社は2012年1月にトヨタ自動車株式会社の100%子会社となり、完成車両メーカーに向けた第1ステップを歩み始めました。そして先月、トヨタ自動車株式会社が「もっといいクルマづくり」に向けた組織の変更を発表し、当社が完成車両メーカーになるための第2ステップが始まります。これから当社は、トヨタグループの中で、CVカンパニーのメイン企業として、商品企画や開発・生産までの一貫した機能をもつこととなります。これまで担当してきたクルマや生産拠点に加えて、新たな車種や生産拠点も加わっていくことになり、当社の役割はとてつもなく大きなものへと変わっていきます。

先人が築き上げてきた歴史と今後の当社の方向性を踏まえ、これからのトヨタ車体の歴史を創っていく新入社員みなさんに期待することを3つお伝えします。

【期待すること】

1つ目は、「常に感謝の気持ちを忘れない」ということです。昨年、当社は創立70周年の節目の年を、感謝の年としました。節目の年だから感謝するというのではなく、常に感謝の気持ちを持ち続けることが大事だと思います。歴史を築いてきた先輩や取引先、地域社会との絆を大切に、新たな歴史を創り上げていきましょう。

2つ目は、「新しい風を吹かせ、若い力で職場に刺激を与える」です。当社は変革の時を迎えています。性別、年齢、国籍に縛られることなく、みなさんの活発な意見や、新たな視点で、今までの価値観を打破してほしいと思います。

3つ目は、「世界を見て仕事をする」ということです。今後は今まで以上に海外との関わりが増えていくこととなります。世界情勢が今どうなっているのか、この先どうなっていくのかといった情報にアンテナを高くし、自己啓発で英語を学ぶなど、何か1つでもいいのでチャレンジをしてみてください。

これらを実践することで、自然と「もっといいクルマづくり」を考え、いい仕事ができるようになり、みなさん自身がトヨタ車体ファンになっているはずですよ。

みなさんの、これからの活躍を心から楽しみにしています。一緒にがんばりましょう。

以上

